

ミドリガメ等のハ虫類の取扱いQ&A

平成 17 年に発生した、ミドリガメを原因とする小児における重症なサルモネラ症事例を踏まえ、ミドリガメをはじめとするハ虫類の衛生的な取扱いなどに関するQ&Aを作成しました。

ミドリガメなどのハ虫類に触れたあとは必ず十分な手洗いをしましょう。

(平成 17 年 12 月 22 日作成、平成 25 年 8 月 12 日更新)

1. サルモネラ症について

問1 サルモネラ症とはどのような病気ですか？

答 サルモネラを原因菌とする感染症で、通常、サルモネラに汚染された食品を食べることにより胃腸炎症状の食中毒を引き起こします。また、ハ虫類などの動物との接触を通じて感染し発症する場合があります。

問2 ハ虫類を原因とするサルモネラ症は、どのくらい発生していますか？

答 日本においては、ハ虫類が原因と判明したサルモネラ症の事例がほぼ毎年発生しています。カメ類を感染源とするものがほとんどであり、いずれも子ども又は高齢者が感染しています。

また、海外においては、カメ、イグアナ、ヘビを原因として、多数の感染事例が報告されており、胃腸炎症状に限らず、菌血症、敗血症、髄膜炎、これらに伴う死亡事例があります。

我が国におけるハ虫類を感染源とするサルモネラ症の事例

血清型	原因爬虫類	患者の年齢、性別	症状	発生年	発生場所
S. Poona	ケツメリクガメ	7ヶ月男児	急性胃腸炎、敗血症	2006	新潟県
S. Schleissheim	ミドリガメ	6歳男児	下痢、嘔吐、発熱	2005	長崎県
S. Braenderup	ミドリガメ	1歳3ヶ月女児	髄膜炎	2005	千葉県
S. Paratyphi B	ミドリガメ	6歳2ヶ月女児	急性胃腸炎、敗血症	2005	千葉県
S. IV (45:g, z51:-)	イグアナ	生後27日男児	腸炎	2004	千葉県
S. Saintpaul	カメ	2ヶ月男児 3歳女児	胃腸炎 胃腸炎	2004	秋田県
Salmonella (O4)	ミドリガメ	62歳女性	敗血性ショック	2003	宮城県

(東京農工大学 林谷秀樹准教授調べより抜粋。出典：雑誌「小児科」2013年1月号)

問3 ミドリガメなどのハ虫類は、どのくらいサルモネラを持っていますか？

答 国内外の文献によると、カメ等のハ虫類の糞便中のサルモネラを検査したところ、保菌率が50~90%であったと報告されています。